



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場会社名 大日本印刷株式会社
 コード番号 7912 URL <http://www.dnp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 北島 義俊
 (氏名) 田村 高顕
 配当支払開始予定日

TEL 03-5225-8220
 平成25年12月10日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	709,625	△1.5	24,003	106.7	27,021	84.1	14,866	—
25年3月期第2四半期	720,684	△4.5	11,614	△29.5	14,673	△26.0	396	△95.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 39,627百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △790百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	23.09	23.02
25年3月期第2四半期	0.62	0.59

(注) 平成26年3月期第2四半期の四半期純利益の対前年同四半期増減率は、1,000%を超えるため、「—」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,536,109		965,979			59.9
25年3月期	1,578,976		937,055			56.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 920,620百万円 25年3月期 893,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
26年3月期	—	16.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	1,530,000	5.8	48,000	34.2	49,000	21.5	23,000	19.7	35.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	700,480,693 株	25年3月期	700,480,693 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	56,531,006 株	25年3月期	56,490,329 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	643,972,337 株	25年3月期2Q	644,047,972 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場の動向などを前提として作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一連の経済政策の効果により、個人消費の増加や企業収益の改善など明るい兆しが見られましたが、新興国をはじめ海外経済の減速など懸念材料もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

印刷業界は、原材料価格の上昇や競争激化による受注単価の下落もあり、引き続き厳しい経営環境にありました。

このような状況のなか、DNPグループ（以下DNP）は、事業ビジョン「P&Iソリューション」に基づき、「未来のあたりまえを作る。」をキャッチフレーズとして積極的な事業活動を展開し、顧客ニーズに対応した製品、サービス及びソリューションを提供するとともに、品質、コスト、納期など、あらゆる面で強い体質を持った生産体制の確立を目指す「モノづくり21活動」に取り組みました。また、全体最適の視点に立って国内外の事業体制の再編を進めるとともに、生活者の視点や、ソーシャル、グローバルな視点での事業展開にも積極的に取り組み、業績確保に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のDNPの連結売上高は7,096億円（前年同期比1.5%減）、連結営業利益は240億円（前年同期比106.7%増）、連結経常利益は270億円（前年同期比84.1%増）、連結四半期純利益は148億円（前年同期は3億円の純利益）となりました。

部門別の状況については、以下のとおりです。

【印刷事業】

・情報コミュニケーション部門

出版印刷関連は、出版市場の低迷が続くなか、印刷から製本までを一貫して行う製造ラインなどの強みを活かして書籍は増加しましたが、雑誌の減少を補えず、前年を下回りました。

商業印刷関連は、チラシ、パンフレット、カタログなどの印刷物が減少し、前年を下回りました。

ビジネスフォーム関連は、少額投資非課税制度（NISA）の口座開設業務に関連したBPO（Business Process Outsourcing）事業の拡大などにより、パーソナルメール等のデータ入力・印刷・発送を行うIPS（Information Processing Services）が増加しました。ICカード関連も、金融機関向けや電子マネー向けが増加し、好調に推移しました。

教育・出版流通事業は、リアルな書店、ネット書店、電子書籍の販売サービスを連携させたハイブリッド型総合書店「honto」の事業拡大と業務の効率化に努めたものの、不採算店舗の閉店もあり売上は前年を下回りました。

その結果、部門全体の売上高は3,424億円（前年同期比1.8%減）、営業利益は56億円（前年同期比23.1%減）となりました。

・生活・産業部門

包装関連は、フィルムパッケージは堅調に推移したものの、ペットボトル用無菌充填システムの販売が減少し、前年を下回りました。

住空間マテリアル関連は、国内の住宅着工戸数が増加するなど、需要が緩やかに回復しつつあり、DNP独自のEB（Electron Beam）コーティング技術を活かした環境配慮製品などが増加し、好調に推移しました。

産業資材関連は、薄型ディスプレイ用反射防止フィルムやフォトプリンター用の昇華型熱転写記録材（カラーインクリボンと受像紙）などが増加し、前年を上回りました。

その結果、部門全体の売上高は2,605億円（前年同期比1.4%減）、営業利益は161億円（前年同期比34.0%増）となりました。

・エレクトロニクス部門

液晶カラーフィルターは、スマートフォンやタブレット端末向けの中小型品は堅調に推移しましたが、大型テレビ向けが減少し、前年を下回りました。

電子デバイス関連は、フォトマスクは海外需要を取り込み、前年並みを確保しましたが、世界的なパソコン販売の低迷により、ハードディスク用サスペンションなどのエッチング製品が減少し、前年を下回りました。

その結果、部門全体の売上高は872億円（前年同期比4.4%減）、営業利益は67億円（前年同期は34億円の営業損失）となりました。

【清涼飲料事業】

・清涼飲料部門

清涼飲料市場が低調に推移し、販売競争が激化する厳しい状況のなか、「コカ・コーラゼロ×EXILE『Zero Limit』プロモーション」等の販売促進企画を実施するなど、売上拡大に努めました。

その結果、軽量ペットボトルを使ったミネラルウォーター「い・ろ・は・す」は増加しましたが、コーヒー飲料が減少し、部門全体の売上高は256億円（前年同期比1.7%減）、営業利益は3千万円（前年同期は2億円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産については、総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ428億円減少し、1兆5,361億円となりました。

負債は、1年内償還予定の社債の減少などにより、前連結会計年度末に比べ717億円減少し、5,701億円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末に比べ289億円増加し、9,659億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.6%から59.9%となりました。

当第2四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フローについては、営業活動によって得られた資金は、税金等調整前四半期純利益254億円、減価償却費364億円などにより648億円となりました。

投資活動に使用された資金は、有形固定資産の取得による支出256億円などにより293億円となり、また、財務活動に使用された資金は、社債の償還による支出503億円、配当金の支払額106億円などにより682億円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は1,829億円となり、前連結会計年度末に比べ291億円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績見通しにつきましては、平成25年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	213,630	186,180
受取手形及び売掛金	367,765	341,088
商品及び製品	91,047	89,720
仕掛品	29,030	31,955
原材料及び貯蔵品	18,977	20,745
その他	33,583	24,896
貸倒引当金	△2,883	△2,695
流動資産合計	751,150	691,892
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	196,019	192,534
機械装置及び運搬具(純額)	129,350	125,302
土地	154,005	152,126
建設仮勘定	22,921	28,563
その他(純額)	36,157	35,149
有形固定資産合計	538,454	533,675
無形固定資産		
その他	35,480	33,363
無形固定資産合計	35,480	33,363
投資その他の資産		
投資有価証券	189,657	217,586
その他	70,210	65,485
貸倒引当金	△5,977	△5,893
投資その他の資産合計	253,890	277,178
固定資産合計	827,825	844,217
資産合計	1,578,976	1,536,109

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	249,567	238,556
短期借入金	47,296	46,889
1年内償還予定の社債	50,760	720
賞与引当金	16,004	16,607
その他	94,156	86,859
流動負債合計	457,784	389,632
固定負債		
社債	102,800	102,460
長期借入金	19,548	19,267
退職給付引当金	26,441	26,764
その他	35,345	32,005
固定負債合計	184,135	180,497
負債合計	641,920	570,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	114,464	114,464
資本剰余金	144,898	144,898
利益剰余金	722,057	726,611
自己株式	△94,226	△94,264
株主資本合計	887,193	891,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,908	33,502
繰延ヘッジ損益	8	12
為替換算調整勘定	△12,986	△4,604
その他の包括利益累計額合計	5,930	28,910
新株予約権	16	16
少数株主持分	43,915	45,343
純資産合計	937,055	965,979
負債純資産合計	1,578,976	1,536,109

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	720,684	709,625
売上原価	596,330	574,853
売上総利益	124,353	134,771
販売費及び一般管理費	112,738	110,768
営業利益	11,614	24,003
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,395	2,467
持分法による投資利益	2,536	611
その他	3,410	3,808
営業外収益合計	8,341	6,887
営業外費用		
支払利息	1,736	1,672
その他	3,546	2,197
営業外費用合計	5,282	3,869
経常利益	14,673	27,021
特別利益		
固定資産売却益	114	646
受取補償金	—	177
その他	120	104
特別利益合計	235	927
特別損失		
固定資産除売却損	2,173	1,934
投資有価証券評価損	5,931	154
その他	2,373	370
特別損失合計	10,477	2,458
税金等調整前四半期純利益	4,431	25,490
法人税、住民税及び事業税	7,477	6,909
法人税等調整額	△3,331	2,735
法人税等合計	4,146	9,645
少数株主損益調整前四半期純利益	285	15,844
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△111	978
四半期純利益	396	14,866

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	285	15,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,315	14,288
繰延ヘッジ損益	15	△1
為替換算調整勘定	223	9,126
持分法適用会社に対する持分相当額	1	369
その他の包括利益合計	△1,075	23,782
四半期包括利益	△790	39,627
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△313	37,846
少数株主に係る四半期包括利益	△477	1,781

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,431	25,490
減価償却費	40,363	36,409
貸倒引当金の増減額(△は減少)	604	△428
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,281	△4,904
持分法による投資損益(△は益)	△2,536	△611
のれん償却額	1,591	1,407
受取利息及び受取配当金	△2,395	△2,467
支払利息	1,736	1,672
投資有価証券売却損益(△は益)	△115	△100
投資有価証券評価損益(△は益)	5,931	154
固定資産除売却損益(△は益)	2,070	1,301
売上債権の増減額(△は増加)	18,297	29,272
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,515	△2,246
仕入債務の増減額(△は減少)	△23,071	△15,163
その他	5,416	2,142
小計	53,558	71,926
特別退職金の支払額	△1,380	△219
法人税等の支払額	△7,178	△6,845
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,999	64,862
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△409	△1,617
有形固定資産の取得による支出	△42,968	△25,690
有形固定資産の売却による収入	1,719	4,157
投資有価証券の取得による支出	△13,890	△6,024
投資有価証券の売却による収入	239	467
事業譲渡による収入	8,091	—
利息及び配当金の受取額	2,803	3,220
その他	△12,430	△3,858
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,845	△29,345
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,007	△817
長期借入れによる収入	1,200	3,010
長期借入金の返済による支出	△3,074	△3,537
社債の償還による支出	△330	△50,380
少数株主からの払込みによる収入	1,882	—
自己株式の取得による支出	△16	△37
子会社の自己株式の取得による支出	△0	△0
利息の支払額	△1,745	△1,707
配当金の支払額	△10,310	△10,311
少数株主への配当金の支払額	△317	△352
その他	△4,592	△4,094
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,311	△68,230
現金及び現金同等物に係る換算差額	456	3,585
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△32,701	△29,127
現金及び現金同等物の期首残高	216,279	212,062
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△25	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	183,552	182,935

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報コミュニ ケーション	生活・産業	エレクトロ ニクス	清涼飲料	合 計		
売上高							
外部顧客への売上高	346,103	257,210	91,223	26,146	720,684	—	720,684
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,764	6,964	0	0	9,730	△9,730	—
計	348,867	264,174	91,224	26,147	730,414	△9,730	720,684
セグメント利益又は損失(△)	7,354	12,026	△3,442	△294	15,644	△4,029	11,614

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究並びに各セグメント共有の研究に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報コミュニ ケーション	生活・産業	エレクトロ ニクス	清涼飲料	合 計		
売上高							
外部顧客への売上高	339,525	257,184	87,217	25,697	709,625	—	709,625
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,929	3,356	0	1	6,288	△6,288	—
計	342,455	260,541	87,218	25,698	715,914	△6,288	709,625
セグメント利益	5,658	16,119	6,739	33	28,550	△4,547	24,003

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究並びに各セグメント共有の研究に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

以 上